

教育研究業績

芸術学部芸術学科芸術教養領域

氏名	茶谷 薫	職名	准教授
教育活動	[学部] 大学生になる、(感覚の)生物学、生態学(環境・科学と社会)、(子育てとアートの)人類学、人類生存のための教養、アートプロジェクト2(教養講座(社会))、教養講座(自然)、アートと数・図形(教養講座(自然))		
学位	博士(理学)(京都大学)		
学歴	平成4年3月 京都大学理学部卒業 平成4年4月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 修士課程入学 平成6年3月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 修士課程修了 平成6年4月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 博士後期課程進学 平成7年6月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 博士後期課程退学		
職歴	平成7年7月 大阪医科大学第一解剖学教室助手(平成11年3月まで) 平成9年4月 高槻市医師会看護専門高等学校非常勤講師(平成11年3月まで) 平成9年9月 大阪外国語大学留学生日本語センター非常勤講師(平成10年9月まで) 平成11年4月 国士舘大学古代イラク文化研究所共同研究員(現在に至る) 平成11年6月 日本学術振興会特別研究員(平成14年3月まで) 平成13年4月 中京大学非常勤講師(平成24年3月まで) 平成14年4月 京都大学霊長類研究所非常勤研究員(平成14年9月まで) 平成14年10月 京都大学霊長類研究所教務補佐員(同月のみ) 平成14年11月 京都大学霊長類研究所非常勤研究員(平成15年3月まで) 平成15年4月 京都大学霊長類研究所教務補佐員(平成19年3月まで) 平成15年4月 名古屋商科大学非常勤講師(平成18年3月まで) 平成16年4月 名古屋芸術大学非常勤講師(平成19年3月まで) 平成17年4月 愛知県立高等看護専門学校非常勤講師(平成25年3月まで) 平成17年9月 椋山女学園大学非常勤講師(平成19年3月まで) 平成19年4月 名古屋芸術大学専任講師(平成25年3月まで) 平成25年4月 名古屋芸術大学准教授(現在に至る)		
専門分野	考現学、人類学、理科・数学教育、アクティブラーニング		
研究課題	1) フィールドワークをもとにした人々の日常生活の物品や行動についての考現学的研究 2) 大学およびその他学校における教材開発: マンガや児童文学作品の活用 3) 義務教育課程における算数・数学の積み残しを大学生や社会人に理解させる教材・教授法開発 4) 霊長類の運動研究		
著書・論文・学会発表	「釣られヂベタリアン」(単著)野外活動研究会会報vol.105p.944(平成20年2月) 「マンガに描かれた美醜問題—「本音」収集の意義」(単著)名古屋芸術大学紀要第29巻pp.241-252(平成20年3月) 「室外機の定点観察(定点シリーズ No.3)」野外活動研究会会報106号p.955(平成20年5月) 「バスの中の車椅子」(単著)野外活動研究会会報107号p.960(平成20年8月) 「ウェブ時代の落書 ネット上の匿名掲示番に溢れる風刺画」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第30巻p.227-237(平成21年3月) 「有意味学習を考える 一個性尊重の「総合的教育」へのアプローチから—」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第30巻p.81-96(平成21年3月) 「日よけの生命科学(研究ノート)」(単著)野外活動研究会会報108号p.969(平成21年3月) 「軒下のじてん」(共著)軒下ミュージアム: わたしと世界のあいだを観察する方法(フィールド選書: 2) pp52-54(平成21年6月) 「異物?」(単著)軒下ミュージアム: わたしと世界のあいだを観察する方法(フィールド選書: 2) pp90-92(平成21年6月) 「室外機は語る」(単著)軒下ミュージアム: わたしと世界のあいだを観察する方法(フィールド選書: 2) pp15-23(平成21年6月)		

「生活研究と教養：1（デザインへ No.32）」(単著)野外活動研究会会報109号p.978(平成21年6月)
「橋の架け替え工事：鴨と車はどこへ?（定点観察 No.6）」(単著)野外活動研究会会報109号p.980(平成21年6月)
「新型インフルエンザ騒ぎ」(単著)野外活動研究会会報110号 p.988(平成21年10月)
「エコバック調査」(単著)野外活動研究会会報111号p.996(平成22年1月)
「ワオキツネザルの尾の中身」(共著)名古屋芸術大学紀要第31巻pp285-292(平成22年3月)
「霜よけの方法と法則」(単著)野外活動研究会会報vol.112p.1000(平成22年4月)
「時代のなかで「カワイイ」って」(単著)野外活動研究会会報vol.113p.1014(平成22年7月)
「ひよけ」野外活動研究会 夏の発表会 午前の部:自由研究「フィールドワーカーの見たまちと暮らし」
名古屋市短歌会館(平成20年8月17日)
「室外機と景観」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市女性会館(平成22年8月22日)
「日よけの方法 — 一定点・量的調査—」(単著)野外活動研究会会報vol.114 p.1027(平成22年10月)
「今は昔—減る新しさ」(単著)野外活動研究会会報vol.115 p.1033(平成23年1月)
「「家」化する自動車」(単著)野外活動研究会会報vol.115, p.1039(平成23年3月)
「ワオキツネザルの前腕臭腺分析」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第32巻 pp.241-249(平成23年3月)
「築地口周辺」(単著)野外活動研究会会報vol.116, p.1047(平成23年4月)
「車の中に残されたもの」(単著)野外活動研究会会報vol.117, p.1058(平成23年7月)
「疑似科学的商品」(単著)野外活動研究会会報vol.117, p.1057(平成23年7月)
「室外機の置き方」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成23年8月20日)
「エネルギーの風俗」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成23年8月23日)
「顔について 口元と髪の色」(単著)野外活動研究会会報vol.118, p.1063(平成23年10月)
「飼い犬の死」(単著)野外活動研究会会報vol.119, p.1082(平成24年1月)
「視野を広げるための読書—名古屋芸術大学図書館所蔵本から」(単著)名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第1巻(創刊号)113-116頁(平成24年3月)
「ワオキツネザル当歳児の顔面分析—ワオキツネザルの「赤ちゃんらしさ」とは?」(共著)名古屋芸術大学人間発達研究所年報第1巻(創刊号)61-67頁(平成24年3月)
「ワオキツネザルの顔面特徴—サル用デジタルカメラ顔認識機能開発のための試み」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第33巻189-196頁(平成24年3月)
「JR岡崎駅の人々—名駅と比較して」(単著)野外活動研究会会報vol.120, p.1094(平成24年4月)
「中岡崎駅(ぶらす岡崎公園駅)」(単著)野外活動研究会会報vol.120, p.1096(平成24年4月)
「「ゴミ」はゴミ?」(単著)野外活動研究会会報vol.121, p.1102(平成24年7月)
「空気入り菓子の科学」(単著)野外活動研究会会報vol.121, p.1104(平成24年7月)
「陽よけ」(単著)野外活動研究会会報vol.121, p.1106(平成24年7月)
「電気のない暮らし」(単著)野外活動研究会会報vol.121, p.1107(平成24年7月)
「生き物のエネルギーと機械のエネルギー」(単著)野外活動研究会会報vol.121, p.1109(平成24年7月)
「後付けバリアフリー」(単著)野外活動研究会会報vol.122, p.1115(平成24年10月)
「休日の名駅—時間帯による違い」(単著)野外活動研究会会報vol.122, p.1117(平成24年10月)
「高床式犬小屋」(単著)野外活動研究会会報vol.122, p.1120(平成24年10月)

「JR岡崎駅の人々—名駅と比較して」(単著)野外活動研究会会報vol.122, p.1115(平成24年10月)

「都市の害獣」(単著)野外活動研究会会報vol.123, p.1128(平成25年2月)

「釣りをする人」(単著)野外活動研究会会報vol.123, p.1135(平成25年2月)

「ツクシをつむ人」(単著)野外活動研究会会報vol.123, p.1136(平成25年2月)

「ワオキツネザルのアカンボウの剖検と死因の推定」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第34巻pp.179-184(平成25年3月)

「瀬戸の窯神社—今も生きている伝統」(単著)野外活動研究会会報vol.124, p.1140(平成25年5月)

「繊維のマチのその後・一宮」(単著)野外活動研究会会報vol.124, p.1147(平成25年5月)

「DECREASE IN THE BODY MASS OF WILD RINGTAILED LEMURS AT BERENTY RESERVE IN MADAGASCAR WITH ENVIRONMENTAL CHANGES」(共著)African Study Monographs 34(2), 109-118(平成25年8月)

「旧国鉄宿舎周辺」(単著)野外活動研究会会報vol.125, p.1153(平成25年8月)

「人を待つヒトビト」(単著)野外活動研究会会報vol.125, p.1157(平成25年8月)

「バリアの要不要」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成25年8月18日)

「後付けバリアフリー」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成24年8月5日)

「バリアを考える」(単著)野外活動研究会会報vol.126, p.1170(平成25年11月)

「小牧山にみるバリア」(単著)野外活動研究会会報vol.126, p.1171(平成25年11月)

「電気の副産物」(単著)野外活動研究会会報vol.127, p.1175(平成26年2月)

「電気がなくても電化製品」(単著)野外活動研究会会報vol.127, p.1179(平成26年2月)

「SIMロック解除」(単著)野外活動研究会会報vol.127, p.1183(平成26年2月)

「電気の副産物」(単著)野外活動研究会会報vol.127, p.1175(平成26年2月)

「ワオキツネザルの前腕臭腺分析(II)」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第35巻pp.179-184(平成26年3月)

「普遍性を生み出すための個別的学習:名古屋芸術大学生生活科教育への教材提案—理解、社会、算数(数学)、国語、図工(美術)、音楽、体育、外国語活動との連携—」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第1号pp.33-41(平成26年3月)

「電車も個室化?:車内の人々-2」(単著)野外活動研究会会報vol.128, p.1190(平成26年4月)

「広告物品に残された歴史」(単著)野外活動研究会会報vol.128, p.1193(平成26年4月)

「JR春日井駅周辺の時間貸し駐車場」(単著)野外活動研究会会報vol.128, p.1195(平成26年4月)

「消費税率増直後、近鉄の地下店舗」(単著)野外活動研究会会報vol.129, p.1203(平成26年8月)

「バリアの研究」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成26年8月24日)

「定点観察備忘録」(単著)野外活動研究会会報vol.129, p.1207-1208(平成26年8月)

「北陸新幹線開業直前の金沢」(単著)野外活動研究会会報vol.130, p.1211(平成27年2月)

「金沢・近江町市場の人々」(単著)野外活動研究会会報vol.130, p.1211(平成27年2月)

「名古屋芸術大学人間発達学部ゼミナール活動報告—授業改善のために—」(単著)名古屋芸術大学人間発達研究所年報第4巻pp.51-60(平成27年3月)

「算数で躓いたところ —大学生の苦手分野と小中学生時代の問題—(事例報告)」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第2号pp.57-66(平成27年3月)

「生活科・社会科における考現学的手法の活用—絵本『町のけんきゅう』の地域学習副読本利用—」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第36巻pp.135-143(平成27年3月)

「駅前演説」(単著)野外活動研究会会報vol.131, p.1224(平成27年5月)

「五条川の橋工事その後」(単著)野外活動研究会会報vol.131, p.1229(平成27年5月)

「Lifespan and Reproductive Senescence in a Free-Ranging Ring-Tailed Lemur (Lemur catta)」(共著)Folia Primatologica, vol.86, pp.134-139(平成27年5月)

「黒板の価値(板書減)」(単著)野外活動研究会会報vol.132, p.1238(平成27年8月)

「盗電合法」(単著)野外活動研究会会報vol.132, p.1239(平成27年8月)

畑に太陽光パネル」(単著)野外活動研究会会報vol.132, p.1244(平成27年8月)

「名古屋駅●深掘り観察トーク 遠近から見た〈名古屋駅へ来る人〉の生態」夏休みくまち歩きサロン
＞発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成27年8月23日)

「北陸新幹線の被害」夏休みくまち歩きサロン＞発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成27年8月23日)

「人類学からみた「こども」という主題が芸術に投げかけるもの」芸術批評誌[リア]vol35pp.15-18(平成27年9月)

「道の変化：ガード下」(単著)野外活動研究会会報vol.133, p.1247(平成28年2月)「

「さしまライブ24界限」(単著)野外活動研究会会報vol.133, p.1250(平成28年2月)

「柔軟な思考を阻むもの—特に科学教育のために」(単著)名古屋芸術大学研究紀要 第37巻 pp.231-239(平成28年3月)

「割合の理解に不足しているもの(事例報告)」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第3号pp.25-37(平成28年3月)

「工場地帯の道」(単著)野外活動研究会会報vol.134, p.1259(平成28年6月)

「平坦な中の「高さ」」(単著)野外活動研究会会報vol.134, p.1260(平成28年6月)

「工場地帯の道」(単著)野外活動研究会会報vol.134, p.1259(平成28年6月)

「かつての線路と駅」(単著)野外活動研究会会報vol.134, p.1265(平成28年6月)

「誘導的に観光地化する街」夏休みくまち歩きサロン)発表会 午前の部 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成28年8月21日)

「誘導的に観光地化する街」夏休みくまち歩きサロン)発表会 午後の部「軒下ミュージアム」 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成28年8月21日)

「物理的境界から社会的・文化的境界まで」(単著)野外活動研究会会報vol.135, p.1272-73(平成28年9月)

「マスクのつくる境界」(単著)野外活動研究会会報vol.135, p.1275(平成28年9月)

「「温暖化」と水害」(単著)野外活動研究会会報vol.136, p.1284(平成29年2月)

「水を探す」(単著)野外活動研究会会報vol.136, p.1286(平成29年2月)

「名古屋芸術大学ゼミナール活動報告(2)」名古屋芸術大学人間発達研究所年報第5・6巻合併号15-25頁(平成29年3月)

「総合的学習と教養教育を基盤とした地域の文化拠点形成に向けて」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第5号73-80頁(平成29年3月)

「保育内容の理解を深めるための育児体験マンガ活用 — 特に保育内容「環境」に関連して —」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第38巻179-194頁(平成29年3月)

「スマホにみるジェネレーションギャップ」(単著)野外活動研究会会報vol.137, p.1295(平成29年5月)

「国有地へのハミダシ」(単著)野外活動研究会会報vol.137, p.1299(平成29年5月)

「ドローンの光と影」(単著)野外活動研究会会報vol.138, p.1308(平成29年8月)

「通販の宅配サービスのハードル」(単著)野外活動研究会会報vol.138, p.1309(平成29年8月)

「献血ルーム」野外活動研究会・夏の発表会・名古屋市短歌会館(平成29年8月20日)

「「献血」の教材としての可能性—「総合的学習」における「献血」学習を通じ幅広い教養を身に付けるための提案」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第6号pp53-64(平成29年9月)

「米原駅とその前」(単著)野外活動研究会会報vol.139 p.1319(平成29年12月)

「トイレの変化：ライフスタイルから」(単著)野外活動研究会会報vol.139 p.1321(平成29年12月)

<p>教育研究業績</p>	<p>「調理実習を通じた食の文化と科学のアクティブラーニング—教材開発研究のための報告—」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第39巻181～195頁(平成30年3月) 「大学における算数・数学の振り返り授業報告」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第7号pp27-38(平成30年3月) 「情報と通信の発達」(単著)野外活動研究会会報vol.140 p.1331(平成30年4月) 「金沢駅のジェネリック化」(単著)野外活動研究会会報vol.140 p.1336(平成30年4月) 「平成の大合併」で」(単著)野外活動研究会会報vol.140 p.1338(平成30年4月) 「DOSからアップル・ウィンドウズへ」(単著)野外活動研究会会報vol.141 p.1343(平成30年8月) 「バリアが減って見えるように」(単著)野外活動研究会会報vol.141 p.1346(平成30年8月) 「能登の合併と恋路駅」(単著)野外活動研究会会報vol.141 p.1348(平成30年8月) 「情報メディアの発達」野外活動研究会・夏の発表会・名古屋市短歌会館(平成30年8月19日) [講演] 「タイトル」、主催者、(講演日等) ・「芸術と科学のハーモニー事業推進フォーラム ライフスタイルが自然環境の危機を招く 個別分野からの提言」武豊町民会館(平成20年12月6日) ・「リベラルアーツ文化講演会～幽霊、名前、学校、お金、…人間の不思議～」愛知県立津島北高校(平成29年10月27日) ・「人間の不思議～ことば・名前の謎と文化～」虎洞山龍臥院桂岩寺(平成30年4月29日)</p>
	<p>[展覧会]「タイトル」・主催者、(実施年月等) 「碧南いろいろ詰め合わせ」碧南・日常観察展愛知県碧南市中町2-16、カフェ・カノン(平成28年8/3-9/4) 「マチのけんきゅう・かんさつ会」子供向けの豊橋市内の考現学的研究入門ワークショップ(平成22年5月16日) 「子供の連れ歩き方、カワイイ、車の中から・車の中で、動物園でヒトを見る」マチで見つけたモノと暮らし展 豊橋市こども未来館ニコニコ(平成22年5/8-5/18) 「軒下の異物:室外機、千年たってもカワイイ」境界なきアート展～響きあうココロへ～、豊川市桜ヶ丘ミュージアム(平成21年11/20-12/19) 「軒下の異物:室外機 エアコン室外機の置き方、利用法は如何に?」「軒下はミュージアム:マチ歩き暮らし発見」展、名古屋市東区、文化のみち榎木館・和室2(平成21年9/15-9/23) 「名古屋芸大生の「かわいい」もの」『名古屋芸術大学教員展』名古屋芸術大学アート&デザインセンター(平成21年6/12-6/17) 「車の中で、車の中から」とよかわ街中ミステリー探索と考現学展」桜ヶ丘ミュージアム1階特別展示室(平成19年9/15-10/14) 「子供の連れ歩き方」とよかわ街中ミステリー探索と考現学展」桜ヶ丘ミュージアム1階特別展示室(平成19年9/15-10/14) 「「とよかわ街中ミステリー探索と考現学展」ワークショップ」豊川市立桜ヶ丘ミュージアム(平成19年7月30日)</p>
<p>所属学会 団体等</p>	<p>野外活動研究会</p>
<p>社会的活動</p>	<p>「熱田生涯学習センター23年度後期講座「世界に一步踏み出そうII～夢と希望にあふれて」」名古屋市熱田生涯学習センター(平成23年11月18日) 「子ども地域探検隊講座の指導」名古屋市西生涯学習センター 平成22年度 地域探検隊促進事業学習プログラムの一環(平成22年8/3,4,7) 「COP10誘致構想に係る意見を伺う会」に大学教職員およびNPOの一員として参加 愛知県庁東庁舎(平成19年10月29日、平成20年2月12日)</p>

<p>その他</p>	<p>「NHK名古屋パパママフェスティバル」下記の早川先生、木村先生、学生と共同で作成した大判布絵と、リニ祭実行委員らが作成した「お菓子の家」をNHK名古屋放送局の公開イベントで披露するとともに、それを出し入れすることで、親子を対象に学生とキャスターの野田英里さんが「ヘンゼルとグレーテル」を読み聞かせた(平成27年11/22)</p> <p>「リニモ沿線合同大学祭」早川先生、木村先生、学生と共同で作成した大判布絵に描いた「ヘンゼルとグレーテル」の各場面を愛・地球博記念公園で子ども向けに展示し、「入れる絵本」として楽しんで学習して貰った(平成27年11/14-15)</p> <p>「博物館ロビーコンサート」愛知県の東西交流と芸術的視点による博物館の再発見への挑戦の一環で、東條・菅嶋・早川と共同し、豊橋市自然史博物館にて引率学生の協力を得て開催(平成26年12/21、12/23、平成27年1/4)</p> <p>ドン・ルイス氏コンサート、音楽イベント」上記と同じ目的・メンバーと加藤多美子氏の多大な尽力で、世界的演奏家にして音楽技術者のドン・ルイス氏の音楽イベントを豊橋市自然史博物館、白木小学校、人間発達学部の春をよぶ芸術フェスティバル、木祖村で行った(平成17年2/11、2/12、2/14、2/19)</p> <p>「アフリカの生き物」とても足の速いパタスモンキー」小学館監修百科シリーズ ジャポニカ学習帳 社会 10mmマス(平成22年から)</p> <p>「ダーウィンが来た 生き物新伝説 第155回 走れ！跳べ！世界最速モンキー」NHK総合テレビ、BS1NHK取材班に協力(平成21年7月)</p>
------------	---